

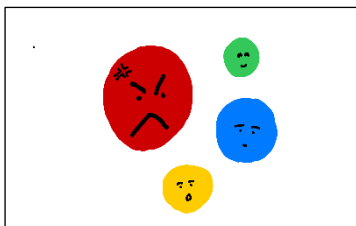
学びの音

城下小学校 校長室だより

令和5年9月13日

「私が変わることができたら」

「何で私の気持ちをわかってくれないの!」「何で私ばかり!」「あなたのしていることはおかしい!」「こんなに我慢しているのに!」「ふざけないで!」



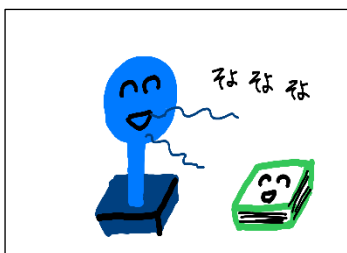
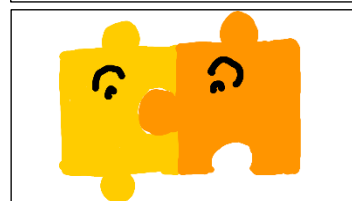
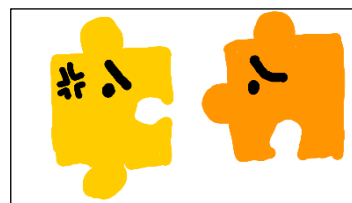
子どもの社会でも大人の社会でも。あの子に対して、大人に対して、社会に対して、「本当に腹が立つ!!」「もっと私のことを考えてほしい」「もっとこうしてほしい」「もっと!」「もっと!!」

自分の周りに対して不満が募るばかり、そのために苦しくて苦しくて仕方がないということはありませんか?

でも簡単なこと。「私が変わることができたら」

パズルのピース。大きくてうまくはまらない。「もっとこちらに合わせてよ」「もっと体を縮めてよ!」「もっと!」「もっと!!」

でも簡単なこと。「私が変わることができたら」



扇風機。強い風で周りの紙が吹き飛んでしまう。

「そんなに簡単に吹き飛ばす方が悪いんだよ」「そんなに軽いからいけないんだよ」「もっと我慢すればいいのに」「もっと!」「もっと!!」

でも簡単なこと。「私が変わることができたら」

ガラスのケースとガラスのコップ。ガラスとガラスでぶつかり合って壊れてしまう。

「こっちに来ないで」「割れてしまうでしょう」「こっちのことを考えてよ」「もっと!」「もっと!!」

でも簡単なこと。「私が変わることができたら」

「私の考えが一番」「私の幸せが一番」「私が!」「私が!!」…

空から私たちを見つめてみましょう。いがみあって喧嘩をしているあの子とこの子。自分とは考えがちがうからという理由で仲間外れにされて苦しんでいるこの子の姿。力のあるあの子に見下されて苦しんでいるこの子の姿。

いがみ合う国々。その中で苦しんでいる人々。

「もっと!」「もっと!!」「何とかしてほしい!!!」

でも簡単なこと。「私が変わることができたら」

